

## はじめに ～ モザイクの後ろには？

2013年3月13日午後7時ころ、大阪市内のとある茶の間。主婦の梅子（48歳）と義母の松代（70歳）は座りこんでテレビを見ている。梅子の大学生の息子竹夫（22歳）が帰宅。

竹夫：帰ったで。あれ、めし、まだかぁ？

松代：あ、あれまあ、お母ちゃんと話しとったらこんな時間やわ。あんた、どう思う？

竹夫：なんやねん、ばあちゃん。

松代：さっき、ニュースでな、去年放送した、ほれ、市の職員の人が新幹線の工事現場で働いとったゆうて、橋下さんがえらい怒ってはったニュースな、あれ、間違いやったゆうてんねん。

梅子：なんや、えらいボカシのぎょーさんあるニュースやったけど、新幹線の工事で働いとるのを知っとるゆうて証言しはった人な、テレビ局の人やったんやて。

松代：そやない、そやない。しゃべりは、ホンマモンなんやけど、ボカシ入っとった人がテレビ局の人やったんやて。てっきり、話しとるのが映っとる人やと思とったから、なんか、ダメされたような気がするんやけど。

竹夫：なんや、そんなことか。ボカシ入っとったから、もとから、それ、本物かどうか分からへんかったやん。声かて、ボイスチェンジやったやろ、アナウンサーかもしれへん。

梅子・松代：えーっ、そんなら、工事現場で働いとったのを知っとるゆう人は、ホンマにおるんやろか。

竹夫：わからへんよ、そんなん。

梅子：そんなん……て（ぼう然とする）。それも、怪しいんか？

松代：でも、テレビやろ、そのくらいちゃんと調べとるやろ。それに、ボカシ、入っとるニュースはぎょーさんあるでえ。あれみ～んな、ホンマはアナウンサーやテレビの人かもしれへんのかぁ？

竹夫：全く、ばあちゃんらは、テレビを信じすぎやで。前にもいっぱい新聞に出とったやろ、信じられん番組……。

梅子：それでも、テレビは間違ふとったら、すぐ直しはるやろ、ほれ、火事の所番地かて、読み間違ふたら、謝りはるし。違ふたら、ほっとかんやろ。

松代：そやなあ、でも、今度のは、違ふと言わはるまで、3か月もたっとるんやけどな。

竹夫：そんなん、新聞でバレたからしゃあなくて謝ったんかもしれへんで。他のは、黙っとるのかもな。

梅子：そんなことゆうたかてなぁ……（意気消沈）。それでもな……、うちは、テ

レビを信じたいんや。

松代：う～～～ん、竹夫、ばあちゃんらは、テレビにダマされたっちゅうことかいな、  
ひと言ゆうてもええかいな、ほれ、東京のテレビの苦情言う何とかゆうとこ、  
BPOやったな、ちょっと電話してみよか。